

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

耐燃性ポリエチレンシース高周波同軸ケーブル
(ポリエチレン絶縁編組形)

JCS 5422 : 2022

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

(一社) 日本電線工業会

2022年4月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会 通信ケーブル専門委員会の審議によって改正したものであり 2022 年 4 月 27 日から発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号	1
4 特性	2
5 材料, 構造及び加工方法	3
6 試験方法	4
6.1 外観	4
6.2 構造	4
6.3 導通	4
6.4 内部導体抵抗	4
6.5 耐電圧	4
6.6 絶縁抵抗	4
6.7 静電容量	4
6.8 特性インピーダンス, 波長短縮率及び減衰量	4
6.9 絶縁体及びシースの引張り	4
6.10 加熱	4
6.11 加熱収縮	5
6.12 耐寒	5
6.13 難燃	5
6.14 発煙濃度	5
6.15 燃焼時発生ガスの酸性度及び導電率	5
7 検査	5
8 包装	6
9 製品の呼び方	6
10 表示	6
10.1 ケーブルの表示	6
10.2 包装の表示	6
付表	7
解説	8

耐燃性ポリエチレンシース高周波同軸ケーブル (ポリエチレン絶縁編組形)

Flame retardant polyethylene sheathed radio-frequency coaxial cables

1 適用範囲

この規格は、内部導体をポリエチレンで絶縁し、外部導体として軟銅線の編組を使用し、シースとしてポリエチレン樹脂を主体とした耐燃性コンパウンド（以下、耐燃性ポリエチレンという。）を施した特性インピーダンス $50\ \Omega$ 及び $75\ \Omega$ の耐燃性ポリエチレンシース高周波同軸ケーブル（以下、ケーブルという。）について規定する。ただし、ケーブルの使用温度範囲は、 $-15\ ^\circ\text{C}$ から $+60\ ^\circ\text{C}$ までとする。

なお、このケーブルは、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテルを意図的に含まず、かつ、このケーブルを構成する材料の中で、プラスチック材料がハロゲンフリーで低発煙性の材料で構成されていることを特徴としている。

注 1) この規格におけるハロゲンフリーとは、塩素及び臭素を含まないことをいう

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 3002 電気用銅線及びアルミニウム線試験方法

JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

JIS C 3102 電気用軟銅線

JIS C 3666-2 電気ケーブルの燃焼時発生ガス測定試験方法－第2部：電気ケーブル材料の燃焼時における pH 及び導電率による発生ガスの酸性度測定

注記 IEC 60754-2 Test on gases evolved during combustion of electric cables－Part 2: Determination of degree of acidity of gases evolved during the combustion of materials taken from electric cables by measuring pH and conductivity, Amendment 1 (1997) が、この規格と一致している。

JIS C 3612 600 V 耐熱性ポリエチレン絶縁電線

3 種類及び記号

ケーブルの種類及び記号は、表 1 のとおりとする。